



丁寧に作られたかまくらとお宮。ろうそくの明かりが幻想的。カラーでお見せできないのが残念！



当日の日中は、最後の仕上げ。

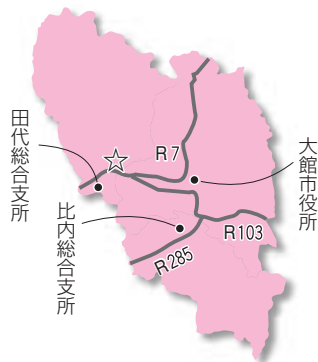


歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「谷地の平地区」
H18. 2.12取材



夕

暮れが遅くなり、わずかながらも日が長くなってきたのを感じられるようになってきました（朝も早くなっているはずですが、早起きがどうも）、まだまだ寒い日が続いています。大館アメッコ市の二日目の夜、田代地域谷地の平地区で、雪祭りが行われました。

谷

地の平地区は戸数約370戸。この地区には、いわゆる長男や跡継ぎと言われるかたではなく、次男や三男の世帯が多いとのこと。田代地域では、比較的新しい地区と言えるかもしれません。

雪

祭りの会場は、谷地の平分館前の駐車場広場。谷地の平分館は、平成12年2月に完成し築6年ですが、建って間もないみたいには外観、内部ともとてもきれいで、地区の皆さんに大切に使われているのが分かります。雪祭りは、地区の「翔の会」が主催して行っている行事。谷地の平地区のことや雪祭りについて、翔の会の会長佐々木鉄美さん（谷地の平西）から、お話しを伺いました。

翔

の会は、地区の子供会で集まった親のOBが5年ほど前に立ち上げた組織。それだけに気心が知れ、結束力と行動力が自慢！雪祭りは、地区活性化のためにと始められ、5回目と言いますから、翔の会の発足とほぼ同時期。今回も雪集めなどかなり前から準備をしていたようです。重機を使つての作業など、力の入れようは、半端じゃありません。かまくらが4個、一番奥にはお宮が作られ、その土台部分や通路には、雪をくり抜いて作った、たくさん雪の彫像とあって良いほどの出来栄ですが、「今夜中にかまくらだけは壊してしまふんだ。かまくらがつぶれて、子供たちには事故が起きては大変だから」。ンーもつたない。でも四六時中監視しているわけにもいきませんものネ。子供会のOBだけに、子供たちに対する配慮はそれだけではありません。かまくら遊びに飽き足らない子供たちのために、分館の屋根にまで達する大きな雪の山もドカンと用意。そのかなりの急斜面を子供たちはソリで滑ってはまた登り、とっ



「例年は2月2週目の日曜日にやっているけど別の行事と重なったため、今日になったんです」と佐々木会長。



屋根まで達する雪の山！子供たちは思い思いの格好で滑り下りてきます。